

2014年は天体写真の年～中間報告編～

田中直樹

「2014年は天体写真の年」と銘打って会報誌を作ってきましたが、気が付けばとっくに2014年の折り返し地点を過ぎておりました。

と言う訳で、今までやってきた事をご紹介します。

■機材増強

今年はVSD100F3.8に代表するような新機材を色々と投入しました。

おかげで、大分撮影結果に不満が出る事も無くなりました。(と言うほど撮ってる訳でもないですが)まあ、これだけ注ぎ込めば・・・ねえ。

でも、「機材引っ張り出すのが面倒」なのは変わらず。ボトムネックですな。

余談:機材設営で一番面倒なのは「大量のケーブルを機材にぷすぷす挿していく動作。」

■交流と発表の場を

今年、天体写真に注力するにしたがって、SNSや天体写真イベントなどにも参加しました。

特に、今年はお誘いを受けた事もあり、「CAN(CCD Astronomy Network)」に参加させていただく事になりました。その流れで、6月に徳島で行なわれた「CANP」(CANの会合)にも参加させていただきました。

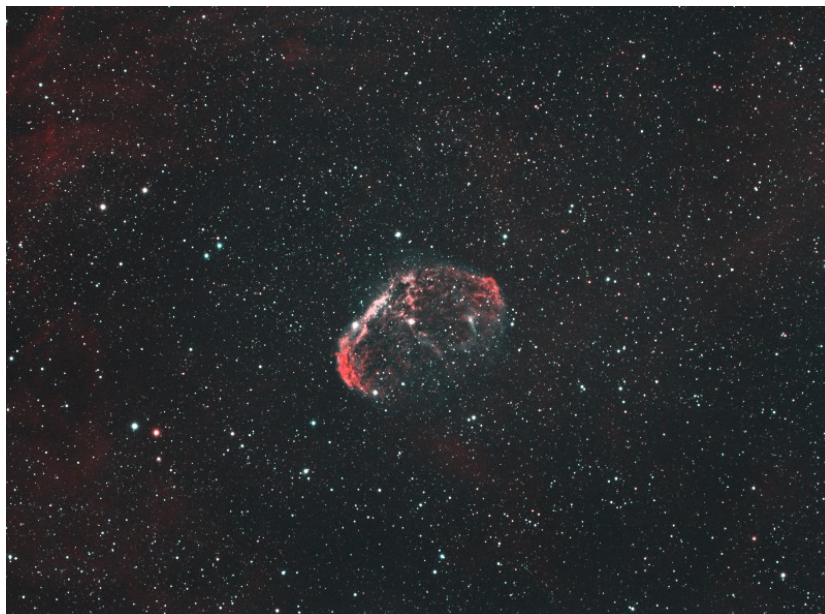
まあ、今回CANに参加させていただいたのは、ぶっちゃけ天体写真を勉強するという意味以上に、今までありそうで少なかった「天体写真を趣向とする方々との交流」に目を向けた結果だったりします。共に楽しむ同好の方が居なければ楽しくは無いですからね。星見もそうですが。

他にもFacebookの天体写真グループにも登録させていただきました。

ノウハウを知るだけでなく、多くの方に作品を見てもらえる環境も大事です。

■書くネタがなくなったので・・・

数少ない作品公開。が、印刷してもあんまり写りが良くないので、WEBで見えていただいた方が吉。



「NGC6888 三日月星雲」